今日は潮干狩りで採取したりスーパーで買ってきたりしたアサリを使って、無せきつい動物の二枚貝の体のしくみを勉強しましょう。小さな貝にも、心臓や腸やエラなどがあって、海の環境に適応した体をしていることが分かります。

手順

①　アサリの中で大きめのものを選びます。アサリをきれいな海水（約３％の塩水でもよい）に入れます。

②　しばらくすると、入水管、出水管が出てきます。また、体の中の老はい物をはき出します。

③　貝の殻のすきまからナイフを入れて開けば、貝の内部を簡単に観察できます。

　アサリは、二枚貝の一種です。

アサリのような干潟にすんでいる貝は、砂にうもれないように、大きな「あし」をもったものが多くいます。

家族で潮干狩りに行ったときなどに、アサリを砂の上に放置すると、動く様子を観察することができます。

観察①（入水管と出水管のはたらきをみてみよう）

アサリを海水（約３％の塩水）に入れ、そこに習字のすみを

流しこみます。初めは、海水が真っ黒です。しばらくすると貝

がすみを吸って水がきれいになっていきます。出水管から水が

出ていることも観察できます。この実験で貝が海水をきれいに

してくれていることも分かります。

観察②（アサリのからだをよくみてみよう）

　アサリの体には、心臓や腸・こう門もあります。食べ物は、口から入り胃や腸を通って、ふんになり、こう門から、出水管を通して水中に出されます。入水管や出水管には細かい毛が生えていて、この毛を動かすことで、管のまわりに水流を作っています。入水管からえさの混じった海水を取りこみ、いらなくなったふんなどを出水管から外に出すのです。





|  |  |
| --- | --- |
| スケッチ　アサリ・ホタテ | 気づいたことなど |

**今日の取り組みを自己評価しよう！　きちんと評価してくださいね！**

関　　観察やグループで協力しながら解剖に積極的に取り組めましたか？　　　　A・B・C

技　　　　　　観察やスケッチは今日の目的を達成しましたか？　　　　　　　　A・B・C

思　　実験や観察を通して、アサリのからだのつくりを知ることができましたか？　A・B・C

　２年　　組　　番　氏名